介護現場における事故報告書の様式が変わります

～新しい報告システムの導入と変更点のポイント～



Gemini Notebook

目的は「全国規模での事故防止」

事故情報を一元的に収集・分析し、現場の事故防止に役立つ情報をフィードバックするための仕組みがスタートします。



Gemini Notebook

令和９年（2027年）4月頃から稼働予定

新しい「介護現場における事故情報報告システム」が稼働します。
今回示された様式の内容は、このシステムの入力フォームに反映される予定です。



Gemini Notebook

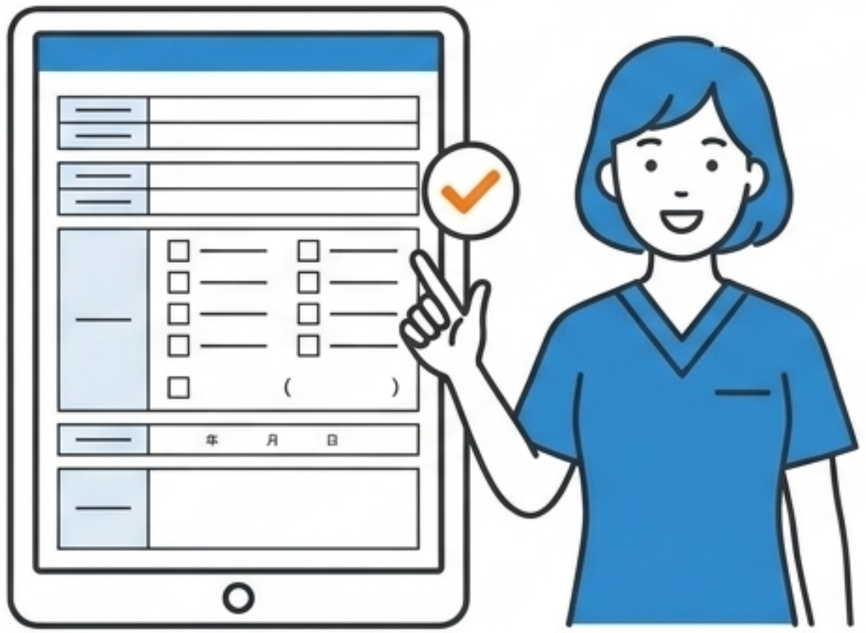
最大の変更点：記述式から「選択・構造化」へ

全国のデータを比較・分析しやすくするため、入力項目が整理・細分化されます。

これまで



これから



Gemini Notebook

発生場所や事故種別の選択肢がより詳細に

「医務室」「エレベーター」などの場所や、「溺水」「熱中症」「利用者者間トラブル」などの種別が明確に選択できるようになります。



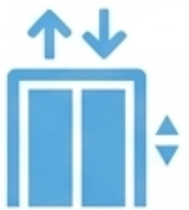
熱中症



溺水



利用者間トラブル



エレベーター

Gemini Notebook

原因分析が「2つの分類」からスタート

まず、事故がどちらの状況で起きたかを大別し、
分析のスタート地点を明確にします。



Gemini Notebook

7つの観点から原因をチェック

これまでの自由記述から、以下の観点で要因を選択し、詳細を記載する形式になります。



ケア利用者の行為や状態変化



組織運営体制



マニュアル、手順



環境、設備



介護技術



職員間の連携、情報共有



その他

Gemini Notebook

原因分析と連動した「再発防止策」

分析した原因（7つの観点）の項目と対応させる形で、具体的な再発防止策を記載するレイアウトに変更されます。

原因



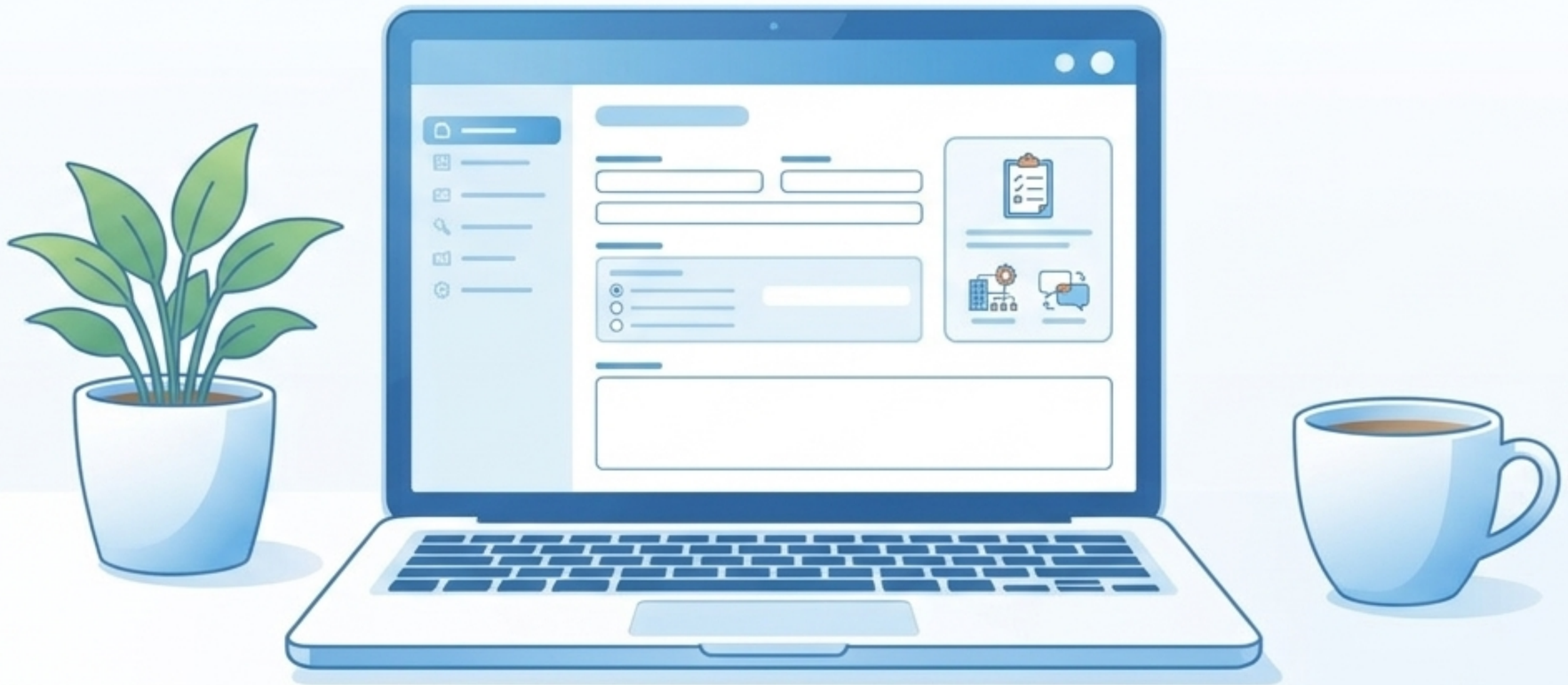
具体的な対策



Gemini Notebook

事故報告は、未来の事故を防ぐための財産へ

新様式は現在調整中ですが、入力しやすいシステム化を見据えた変更です。
まずは新しい原因分析の観点（7つの要因）を現場で共有しましょう。



Gemini Notebook